

◆ 学 位	学 位 名	博士 (社会学) 筑波大学	修士 (社会学) 筑波大学
	取得方法	課程 平成 20 年取得	課程 平成 14 年取得
◆ 学 歴	大 学	佐賀大学教育学部総合文化課程 平成 11 年卒業	
	大 学 院	筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究所社会科学専攻 平成 20 年修了	
◆ 学 内 職 務 (2021 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 宗教委員 ▪ キャリア委員 		
◆ 担当授業科目 (2021 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域社会学 ▪ まちづくり論 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境問題論 ▪ 地域開発論
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 専門社会調査士 (平成 18 年取得) 			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
地域社会学	環境社会学	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 生活環境主義 ▪ 開発/発展 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 社会の再生産 ▪ コモンズ
◆ 研究概要	現場の人びとの発想をふまえた地域社会の再生産についての検討		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本社会学会 ▪ 環境社会学会 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 村落社会研究学会 ▪ 関東社会学会
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 生活環境主義のコミュニティ分析 	共	平成 30 年 10 月	ミネルヴァ書房
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 現代社会への多様な眼差し 	共	平成 29 年 3 月	晃洋書房
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 霞ヶ浦の環境と水辺の暮らし 	共	平成 22 年 4 月	早稲田大学出版部
<ul style="list-style-type: none"> ▪ よくわかる環境社会学 	共	平成 21 年 4 月	ミネルヴァ書房
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 村落社会の空間荒廃と村落研究 	共	平成 28 年 11 月	『村落社会研究ジャーナル』第 45 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域環境創造主体としての「設定された地元」 	単	平成 25 年 3 月	『四天王寺大学紀要』第 55 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 生活環境主義の独自性と現代的意義 	単	平成 22 年 9 月	『人間科学研究』第 23 巻 2 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 琵琶湖漁民の生活史からみた自然環境との持続的関係 	単	平成 21 年 9 月	『生活文化史』第 56 号
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 環境社会学における生活環境主義の位置 	共	平成 20 年 3 月	『兵庫県立大学環境人間学部研究報告』第 10 号
◆ その他 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 発表「有明海の干拓と生活の必要」 	単	令和元年 5 月	第 77 回西日本社会学会大会

講義「地域社会学：生活者の思想から地域を構想する」	単	平成 29 年 11 月	はびきの市民大学 平成 29 年後期講座 『現代社会への多様な眼差し』
書評「本田恭子著『地域資源保全主体としての集落』」	単	平成 28 年 11 月	『村落社会研究ジャーナル』第 45 号
発表「河川敷の利用にみる地域社会の空間管理」	単	平成 27 年 12 月	日本村落研究学会関東地区例会
講義「フィールドに学ぶ―地域における環境と開発をめぐって」	単	平成 25 年 11 月	はびきの市民大学 平成 25 年後期講座 『「知る」ことの楽しみ』